

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 【特集】沿岸被災地の復興支援を考える
- 10 狂犬病予防集合注射を行います
- 11 全国大会で優秀な成績を収めた選手たち
「地域密着型サービス事業者」を募集
- 12 2012 奥州夏まつり グラフ
- 14 結 - ゆい- ~ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例~
- 15 市の出来事から
- 16 まちの話題
- 18 つながれ 広がれ NPO の輪
- 20 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 21 消費生活相談
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 22 キラリ人輝く
夢トーク
- 23 クラブ紹介
ぼんたのつぶやき
- 24 暮らしの情報
- 28 奥州遺産

〈今月の表紙〉



えさし夏まつり「七夕まつり」が8月6日と7日、江刺区川原町多目的広場などを会場に開催されました。商店街には夜店が立ち並び、広場では「奥州OneLoveフェスタ」も開催。商店街に飾られた七夕飾りの中には涼しげな浴衣姿が。ほのかな灯りが人々をやさしく照らしていました。
猛暑となったこの夏、市内各地で行われた夏祭りは多くの人出でにぎわいました。
【関連記事：12.13 ページ】



奥州YOSAKOI in みずさわに向けて仲間と練習に打ち込む

胆沢区を拠点として活動するよさこいチーム「飛勇凛」。小山地区センターのホールから、よさこいの軽快な曲と、練習に汗を流す若者の楽しげな声が聞こえる。同チームの代表代行を務める高橋雅也さんは、平成17年のチーム発足に携わった。今では中心的存在で、メンバーの技術向上を目指して指導も行っている。25歳の厄年のとき、教育委員会主催の講座がきっかけでよさこいの世界に飛び込んだ。そのころ、水沢区、江刺区、前沢区ではすでによさこいチームが活動しており、胆沢区でも発足を期待する声が出ていた。

中学、高校と野球部に所属し、外野手として活躍。今でも野球チームに所属しているが、それに飽き足りず地元サッカーチームでも力を発揮している。とにかく体を動かすことが好きで、よさこいのめり込むのは当然の成り行きだった。
消防団にも所属。胆沢劇場ではスタッフとして裏方に徹する。「何とかなる。まずは挑戦」との気持ちで、地元のためにさまざまなことにチャレンジしている。
毎年5月から10月までは毎週のようによさこいの出演予定が組まれ、週3日の練習をこなす。今月16日の奥州YOSAKOI in みずさわでも演舞を披露する。今はよさこい一色の日々だ。胆沢の歴史を表現したオリジナル曲「郷土愛」で、ふるさとを思うその気持ち伝える。



24

郷土を愛する思いを よさこいで伝えたい

高橋雅也さん(31歳)
胆沢区小山字上白鳥川



たかはし・まさや◎昭和56年胆沢区小山字上白鳥川生まれ。東北シントク工業(株)勤務。よさこいチーム「飛勇凛」の代表代行。父、母、弟、祖父、祖母の6人家族